

めぐみ えがお大東っ子 第4号

ホッス ステッス 「ボイス」 こころが元気になる居場所として



仲間と一緒にラグビーを楽しむ

こころの不安等により、学校に行きたくても行けない不登校状態が続いている児童・生徒の居場所として、大東市適応指導教室（ふれ愛教室「ボイス」）は設置されています。「ボイス」では、指導員（ふれ愛フレンド）が一人一人のこころの状態に寄り添いながら、安心できる居場所となるように児童・生徒を支えています。サマースクールや秋の遠足などの行事は、人とのつながりが楽しく思えることを願いながら企画しており、たくさんの笑顔に出会うことができます。また、毎月開催している交流会では、不登校児童生徒と向き合ってきたスクールカウンセラーを交え、保護者・教員・指導員・市教育委員会担当者などが参加して、困っていることを気軽に話し合いながら一緒に考えていく姿勢を大切にしています。（問合せ先：大東市教育委員会事務局 教育政策室 人権教育グループ TEL 072-870-9104）



Daito 学校園めぐり

NO. 4

諸福中学校

豊かな知性・健全な人格
の育成をめざして

生徒数：299名
校長：笹尾 宏



本校は今年度創立30周年を迎え、10月30日に記念



部活動代表による誓いの言葉

授業風景



式典を開催しました。学習はもとより体育大会、文化祭など各行事や部活動にも一生懸命取り組む良き伝統が培われてきました。また挨拶の声がよく響き渡る校風があります。今年度、学力向上の取り組みとして「学び合う」授業づくりの推進、1年間の徹底した少人数授業（数・英）の

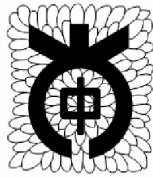
展開、終礼時学習の毎日の実施、土日の宿題、放課後自習教室まなび舎の実施、さらには英検・漢検の全生徒受検を実施しており学習意欲の向上を図っています。また、いじめ問題等、人権教育についても一人一人の生き方につながるように、深く考える学びを大切にしています。今後とも地域の中で信頼される学校づくりを推進していきます。<http://ed.city.daito.osaka.jp/moro-jhs/>



体育大会 組体操

大東中学校

生徒数：372名
校長：西川 潔



「仲間とともに学び、
仲間とともに育つ」
子どもの育成をめざして

本校は、昭和58年に開校した大東市で一番若い中学校です。校訓「信頼される人たれ」を基本理念に、生徒一人一人の基本的な人権を尊重し、豊かな心情、深い学識、たくましい身体をそなえた健康な心身を持つ生徒の育成をめざしています。本年度の重点目標は、



体育大会 ダンス

①人間関係づくりで社会力を高める

- ・一人一人の基本的な人権が尊重される教育を推進する。
- ・道徳教育と生徒指導体制の充実を図る。

②「学び合う」授業づくりで人間力を高める

- ・協同学習を授業に取り入れ、

生徒の学習意欲の向上を図るとともに、自ら学び仲間と学び合う生徒を育成する。

- ・反復学習による基礎・基本の定着を図り、分割・TT授業により個に応じた指導を充実させる。
- ・放課後学び舎学習により学習習慣の定着を図る。



独り暮らしのお年寄りを訪問

③教育環境づくりで支援力を高める

- ・小・中学校の連携を強化し、9年間を見通した教育をめざす。
- ・開かれた学校をめざし、地域・保護者との連携を図る。
- ・安全管理と健康管理を適切に行い、安心安全な学校をめざす。

大東中ホームページ

<http://ed.city.daito.osaka.jp/daito-jhs/>

灰塚小学校

児童数：684名
校長：富岡 秀隆



豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる
力を身につける子どもの育成

本校は、大東市で13番目の小学校として、昭和52年に創立されました。「生き生きと学び合う子どもたちの育成」をめざし、授業はもちろん、以下のような放課後の活動にも力を入れています。◎「キラッと火曜日」…低・中学年の児童を対象に放課後の学習会を行い、基礎学力の定着をめざしています。



キラッと火曜日



水6わくわくクラブで百人一首

◎「水6わくわくクラブ」…中・高学年を中心に、クラブ活動のような学ぶことの楽しさを感じる放課後教室です。

◎「木曜チャレンジ学習」…中・高学年中心の応用力アップをめざした教室です。その他、児童会活動や委員会活動、クラブ活動など、自主・自立活動の取り組みを活発に行っています。

<http://ed.city.daito.osaka.jp/haizuka-es/>

諸福小学校

児童数：685名
校長：伊藤 忠男



一人一人が活かされ、 笑顔のはずむ学校

創立以来、地域の皆様の学校を思う熱い心に支えられ、今日に至るまで37年間本校の教育が進められてきました。

確かな学力の育成…日々の授業を大切に、「わかる授業」「楽しい授業」を進め、すべての児童に基礎・基本の確実な定着を図ります。特に外国語活動では今年度も5・6年生が毎週1時間の英語活動を楽しんでいます。



楽しい外国語活動の時間

心の教育と生活指導の充実…気持ちの良いあいさつや返事、やさしい言葉を使う、時間を守る、廊下・階段は静かに歩くなど基本的な生活習慣の確立を図っています。また、登校した児童は、一旦下足室前に集合し当番の教員の話を受けます。これは諸福小児童全員を温かく迎え、顔を覚え、意思疎通を図るためです。

今年度は『心ほかほか、ルール守って、本気でガンバ!』をスローガンに、児童・教職員一体となって取組みを進めています。<http://ed.city.daito.osaka.jp/moro-es/>



登校時に先生からお話を聴く

北条西小学校

児童数：252名
校長：加藤 三郎



望ましい子ども像

- 自ら学び、考え、判断し、行動できる子
- 思いやりのある子
- 健康な子

人権尊重を基礎に、お互いの違いを認め合える心豊かな子どもの育成を図り、自ら学び、考える力などの「生きる力」をはぐくむことを学校教育目標にしてさまざまな活動を展開しています。本校は、昭和50年（1975年）に北条小学校から分離して北条西小学校としてスタートしましたが、平成24年度に北条小学校と統合をし、新しい学校としてスタートします。そのため、統合までの2年間、北条小学校・北条西小学校の児童がスムーズに学校生活を送ることができるよう下記のような活動を計画しています。

- ①ドッジボール大会等の交流授業
- ②北条西小学校の児童による北条小学校校区めぐり
- ③合同遠足や合同校外学習の実施
- ④お互いの「音楽会」を鑑賞

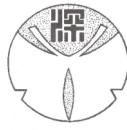


<3年生合同体育「ドッジボール」>

北条西小ホームページ
<http://ed.city.daito.osaka.jp/houjow-es/>

深野北小学校

児童数：268名
校長：寺谷 淳子



「縦割り集団」での仲間づくり

～思いやりの心を育てる～

本校の目標は「自ら考え、行動する、心豊かな、たくましい子どもの育成」です。児童数の少ないいわが校では、開校以来、一貫して全校遠足・縦割り清掃・仲良しタイム（朝の縦割りグループでの集団遊び）等の行事を通した縦割り集団づくりに取り組んできました。年度初めに全職員で検討し、全児童を各班6～7名に編成します。学年を越えた仲間づくりの様々な活動の中で、高学年は低学年をいたわり、低学年は高学年の力強さに頼もしさを感じながら互いに他者を思いやる心をふくらませていくことを目標に行っています。また、学力向上をめざした取り組みとして、①毎朝の15分間を「深北タイム」と名付け、全児童が計算や漢字練習等の反復学習を行う②水曜日の放課後に地域指導者と保護者ボランティアによりそろばん教室と学習教室を実施③職員の授業力アップのため、外部講師を招いて算数科の授業研究等を行っています。 <http://ed.city.daito.osaka.jp/fukon-es/>



縦割りグループで仲よく昼食 全校遠足

三箇小学校

児童数：520名
校長：中村 和博



校訓「生きる喜びを持った たくましい子」

喜びあふれる こころのふるさと

本校は氷野小学校と四条北小学校のマンモス化解消と三箇地区住民の「三箇地区に小学校を」という永年の願いが実り、昭和56年4月1日に15番目に創立された大東市で一番新しい小学校です。今年で30周年を迎えます。学力向上と学ぶ楽しさにつながる授業づくり、児童が行事などに主体的に取り組む集団づくりを軸に、児童にとっての心の居場所となる学校づくり「こころのふるさと」三箇小をめざします。主な取り組みを紹介します。

1. 学び合う授業づくりの推進
2. 少人数授業・チームティーチング指導
3. AET や外部人材を活用した外国語活動（英語）
4. 朝の読書による読書習慣の育成



学んだことを伝え合う算数の授業

三箇小ホームページ

<http://ed.city.daito.osaka.jp/sanga-es/>